

災の猛威さまざま



津波直撃、大震災に大地力死せる

日本海中部地

死者32
秋田市
工事現場
児童2人水死
1人不^可
木

9月1日と4日に防災訓練

先の秋田県沖を震源地とした「日本海中部地震」は、M(マグニチュード)7.7。予想される東海地震は、これよりさらに大きいM8程度といわれています。地震の被害を最小限に食い止めるには、日々の訓練が最も大切——ということはいうまでもありません。今年の防災訓練は、9月1日が行政機関・自主防等が、4日に自主防が中心となって行います。1人でも多くの人が参加し、“いつ”という時の対応を身につけてください。

1日は自主防、行政などが中心

今年の防災訓練は、9月1日(木)及び4日(日)の2本立てとなります。

9月1日は、国・県・市が中心となり、それに学校や公共施設を初め会社・事業所・自主防災会などが参加します。

また、4日は自主防災会を中心に行います。

これは、より多くの人に防災訓練

に参加していただこう、というねらいから9月1日の「防災の日」と、4日の日曜日に県下全体として設定したものです。しかし、富士市の場合は、4日が地域行事と重なる地区が多いため、ほとんどの自主防災会が1日に実施します。

訓練の重点は

今回の訓練では、次のことを重点的に行います。

- 家庭における安全対策と危険個所の把握
- 老人、病人等に対する安全の確保
- 避難生活の維持（津波、山崩れの危険地区）

9月1日
9時30分



防災訓練の主な内容

(一) 内は4日の想定時刻です

警戒宣言の伝達

家庭では

・非常持出品の確認と準備
・火の始末・ガスの元栓をしめる
・テレビ・ラジオで情報の確認

・避難開始

・避難人員の把握
・防災資機材の点検配備
・住民を誘導
・避難地・避難路の安全確認をし
・自主防では



11時



・炊出し・応急給水活動
・救護活動
・海岸近くの自主防は津波の警戒
・初期消火



12時



日本海中部地震による被害

- ・飲料水の確保及び応急給水活動
- ・緊急物資の確保及び輸送体制の強化
- ・応急医療体制の確保
- ・ガス、水道、電気、電話等生活関連施設の早期復旧
- ・全市内における車両の20%走行

M8の地震が発生！

訓練の想定としては、「駿河湾を震源域とするマグニチュード8の地震が発生。このため沿岸一帯に津波が襲来し、各地で山崩れ、家屋の倒壊等が発生し、負傷者が出了。」というもとに行われます。

まず、警戒宣言が出たら各家庭及び自主防では、次の行動をとっていただきます。

■各家庭では

- ・テレビ、ラジオで情報の確認
- ・火の始末、ガスの元栓をしめる
- ・家具の転倒、落下及びガラスの飛

散防止

- ・老人、病人の安全確認
- ・非常持出品の確認と準備
- 自主防では
 - ・役付、班員は予め定められた場所に集合し、活動の分担を確認する
 - ・避難地、避難路の安全を確認し、地域住民の避難誘導にあたる
 - ・可搬式ポンプ、浄水器等の点検及び事前配備を行う

津波に対する警戒を

先の日本海中部地震では、100余名の死亡者のほとんどが津波によるものでした。津波に対する事前の認識があったなら、もっと被害を少くできたかもしれません。

今回の訓練では、津波に対する自衛措置が講じられます。

災害対策本部長は、水防団、消防団に対して、津波監視命令を出すとともに、自主防に対しても津波監視要請を行います。これによって、水防団、消防団は、海岸において津波警戒パトロールにあたります。

以上、訓練についての主な内容をお知らせしましたが、訓練だからといっておろそかにせず、より多くの市民参加のもとに、『いざっ』という時の対応の仕方を身につけていただきたいと思います。

ドライバーはご協力ください

市内全域で20分間速度規制



市内全域で20%規制が

九月一日の防災訓練では、市内全域で速度規制と、東名インター入口で流入規制を行います。当日、車を運転する人はご協力ください。

☆低速走行訓練……午前九時三十分から九時五十分までの二十分間、市内全域で時速二十キロの速度規制となります。

☆自動車流入規制訓練……午前九時三十分から九時三十五分までの五分間、東名インター入口で、高速道路への乗り入れ規制を行います。